



2024年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年4月26日

上場会社名 住友重機械工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 6302 URL <https://www.shi.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 下村 真司
問合せ先責任者 (役職名) IR広報部長 (氏名) 島村 佳孝 (TEL) 03-6737-2332
四半期報告書提出予定日 2024年5月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・マスコミ向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2024年12月期第1四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	254,811	2.6	18,434	14.1	18,766	14.7	13,599	25.8
2023年12月期第1四半期	248,236	—	16,157	—	16,359	—	10,809	—

(注) 包括利益 2024年12月期第1四半期 30,600百万円(86.2%) 2023年12月期第1四半期 16,430百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	111.13	—
2023年12月期第1四半期	88.24	—

(注) 当社は2022年12月期より決算日を3月31日から12月31日に変更しております。これに伴い、2023年12月期第1四半期と2022年12月期第1四半期は連結対象期間が異なるため、2023年12月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第1四半期	1,254,072	649,141	51.1
2023年12月期	1,200,857	627,464	51.6

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 640,763百万円 2023年12月期 619,771百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	60.00	—	60.00	120.00
2024年12月期	—	—	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	60.00	—	65.00	125.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,110,000	2.6	70,000	△5.9	66,000	△6.0	41,000	25.2	334.73

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注2) 当社は、2024年2月14日開催の取締役会において、自己株式の取得について決議しましたが、連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、自己株式の取得影響を考慮しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年12月期 1 Q	122,905,481株	2023年12月期	122,905,481株
② 期末自己株式数	2024年12月期 1 Q	761,990株	2023年12月期	418,174株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年12月期 1 Q	122,373,007株	2023年12月期 1 Q	122,495,089株

※期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式には、取締役等への株式報酬制度のために設定した株式交付信託に係る信託口が保有する当社株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(重要な後発事象)	8
3. 補足情報	9
(1) セグメント別受注高・売上高及び営業損益・受注残高	9
(2) (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期における当社グループを取り巻く経営環境は、国内において製造業を中心に設備投資は緩やかな回復に向かう中、半導体市況の持ち直しの動きに足踏みが見られるなど、一部に弱さが見られました。海外においては、米国では内需主導で経済成長を牽引する中、設備投資が底堅く推移する一方、欧州では金融引き締めによる景気悪化により、英国及びドイツを中心に弱含みが続きました。中国においては、不動産市況の悪化に端を発した景気減速が継続しており、生産、消費の持ち直しの動きは鈍く需要の低迷が続き、その影響は東南アジアにも波及しています。加えてロシア・ウクライナ、中東問題などの地政学上リスクが残るなど、依然として不透明感が残る状態でもありました。

このような経営環境のもと、当社グループは「中期経営計画2026」に基づき、製品・サービスによる社会課題解決を通じて持続的に企業価値を拡大することをめざし、強靱な事業体の構築へ向け、収益力改善、資本効率向上、新事業探索の強化を遂行するとともに、SDGsへの貢献拡大及び環境負荷低減への取組み強化などの施策を推進してまいりました。

この結果、当社グループの受注高は2,211億円(前年同期比15%減)、売上高は2,548億円(前年同期比3%増)となりました。損益面につきましては、営業利益は184億円(前年同期比14%増)、経常利益は188億円(前年同期比15%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は136億円(前年同期比26%増)となりました。

各セグメント別の状況は、以下のとおりであります。

① メカトロニクス

中小型の減・変速機は、中国での市況低迷が継続、またモータ、インバータは、欧州での顧客の在庫調整の影響があり需要が減少したことから、受注、売上、営業利益ともに減少しました。この結果、受注高は472億円(前年同期比9%減)、売上高は494億円(前年同期比7%減)、営業利益は17億円(前年同期比47%減)となりました。

② インダストリアル マシナリー

プラスチック加工機械事業は、中国での電気電子関連の需要が停滞、また欧州においても投資の冷え込みが継続したことから受注、売上、営業利益は減少しました。

その他の事業は、半導体市況の停滞に伴う顧客の在庫調整や投資先送りの影響などを受け、受注は減少しましたが、受注残が高い水準であったこともあり、売上、営業利益ともに増加しました。この結果、受注高は625億円(前年同期比11%減)、売上高は665億円(前年同期比3%減)、営業利益は62億円(前年同期比13%減)となりました。

③ ロジスティックス&コンストラクション

油圧ショベル事業は、国内において前期にあった価格改定前の駆け込み受注がなくなったことや、米国での前期の先行発注の反動減などにより受注は減少したものの、米国を中心に受注残が高い水準であったことから売上は増加し、営業利益は国内での価格改定効果もあり増加しました。

その他の事業は、建設用クレーン事業では、北米の需要が底堅く推移したことから受注、売上、営業利益ともに増加しました。また、運搬機械事業では、製鉄や造船向けの大型案件があったことから受注は増加したものの、当期売上対象となる案件が少なかったことから売上、営業利益ともに減少しました。

この結果、受注高は847億円(前年同期比14%減)、売上高は945億円(前年同期比8%増)、営業利益は92億円(前年同期比55%増)となりました。

④ エネルギー&ライフライン

エネルギープラント事業は、欧州の発電設備の大型改造案件の減少により受注は減少しましたが、案件の工事進捗差により売上は増加し、営業利益は前年同期並みとなりました。

その他の事業は、新造船事業からの撤退により、2024年度以降の新規受注を停止したことなどから受注は減少したものの、受注残があったことから売上、営業利益ともに増加しました。

この結果、受注高は250億円(前年同期比34%減)、売上高は429億円(前年同期比15%増)、営業利益は9億円と

なりました。

⑤ その他

受注高は16億円(前年同期比3%増)、売上高は16億円(前年同期比10%増)、営業利益は5億円(前年同期比10%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末(2024年3月31日)における総資産は、前連結会計年度末と比べて、棚卸資産が265億円、現金及び預金が139億円、有形固定資産が107億円それぞれ増加したことなどにより、前連結会計年度末比532億円増の1兆2,541億円となりました。

負債合計は、有利子負債が414億円増加したことなどにより、前連結会計年度末比315億円増の6,049億円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定が168億円、利益剰余金が62億円それぞれ増加したことなどにより、前連結会計年度末比217億円増の6,491億円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末比0.5ポイント減の51.1%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ138億円増加し、1,140億円となりました。当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、55億円の資金の減少となり、前年同期に比べて98億円の減少となりました。これは、棚卸資産の増加幅は縮小しましたが、法人税等の支払額が増加したこと及び仕入債務の減少幅が拡大したことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、126億円の資金の減少となり、前年同期に比べて42億円の減少となりました。これは、有形及び無形固定資産の取得による支出が増加したことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、298億円の資金の増加となり、前年同期に比べて271億円の増加となりました。これは、有利子負債の増加幅が拡大したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月14日の決算短信で公表した2024年12月期の連結業績予想につきましては、修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	104,458	118,396
受取手形、売掛金及び契約資産	289,861	287,264
棚卸資産	321,086	347,558
その他	35,280	39,208
貸倒引当金	△2,400	△2,584
流動資産合計	748,285	789,842
固定資産		
有形固定資産		
土地	111,169	111,685
その他(純額)	218,837	228,989
有形固定資産合計	330,007	340,674
無形固定資産		
のれん	19,312	19,715
その他	26,300	27,229
無形固定資産合計	45,612	46,944
投資その他の資産		
その他	84,862	84,870
貸倒引当金	△7,909	△8,258
投資その他の資産合計	76,953	76,612
固定資産合計	452,572	464,230
資産合計	1,200,857	1,254,072
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	180,822	174,659
短期借入金	63,258	79,647
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	9,741	4,943
コマーシャル・ペーパー	—	30,000
賞与引当金	7,753	14,796
保証工事引当金	12,164	12,180
その他の引当金	3,036	2,247
その他	129,555	117,045
流動負債合計	416,329	445,517
固定負債		
社債	40,000	40,000
長期借入金	39,231	39,020
退職給付に係る負債	33,836	35,238
再評価に係る繰延税金負債	20,408	20,408
引当金	161	164
その他	23,428	24,583
固定負債合計	157,064	159,414
負債合計	573,393	604,931

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,872	30,872
資本剰余金	25,203	25,203
利益剰余金	433,579	439,825
自己株式	△1,177	△2,744
株主資本合計	488,476	493,156
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,951	7,864
繰延ヘッジ損益	△956	△1,845
土地再評価差額金	40,307	40,307
為替換算調整勘定	72,163	88,935
退職給付に係る調整累計額	12,831	12,346
その他の包括利益累計額合計	131,295	147,607
非支配株主持分	7,693	8,378
純資産合計	627,464	649,141
負債純資産合計	1,200,857	1,254,072

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年1月1日 至2024年3月31日)
売上高	248,236	254,811
売上原価	190,615	190,239
売上総利益	57,621	64,572
販売費及び一般管理費	41,464	46,138
営業利益	16,157	18,434
営業外収益		
受取利息	347	365
受取配当金	37	39
為替差益	243	145
投資有価証券売却益	72	825
その他	927	825
営業外収益合計	1,625	2,200
営業外費用		
支払利息	456	838
特許関係費用	301	377
その他	665	653
営業外費用合計	1,423	1,869
経常利益	16,359	18,766
特別損失		
減損損失	124	170
特別損失合計	124	170
税金等調整前四半期純利益	16,235	18,595
法人税等	4,918	4,642
四半期純利益	11,317	13,954
非支配株主に帰属する四半期純利益	508	354
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,809	13,599

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	11,317	13,954
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	419	907
繰延ヘッジ損益	△92	△888
為替換算調整勘定	4,997	17,106
退職給付に係る調整額	△212	△485
持分法適用会社に対する持分相当額	2	6
その他の包括利益合計	5,114	16,646
四半期包括利益	16,430	30,600
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,757	29,912
非支配株主に係る四半期包括利益	674	688

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2024年2月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式344,100株の取得を行いました。この結果、単元未満株式の買取による変動なども含め、当第1四半期連結累計期間において自己株式が1,566百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が2,744百万円となっております。

なお、当第1四半期連結会計期間末における自己株式には、取締役等への株式報酬制度のために設定した株式交付信託に係る信託口が保有する当社株式を含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(重要な後発事象)

当社は、2024年4月18日に以下のとおり無担保社債を発行いたしました。

- | | |
|---------------|----------------------------------|
| 1. 銘柄 | 住友重機械工業株式会社第9回無担保社債(社債間限定同順位特約付) |
| 2. 発行総額 | 20,000百万円 |
| 3. 発行価格 | 額面100円につき金100円 |
| 4. 利率 | 年0.736% |
| 5. 償還金額 | 額面100円につき金100円 |
| 6. 償還期限及び償還方法 | 2029年4月18日(満期一括償還) |
| 7. 資金用途 | コマーシャル・ペーパーの償還資金として充当 |

3. 補足情報

(1) セグメント別受注高・売上高及び営業損益・受注残高

① 受注高

(単位：百万円)

セグメント	前第1四半期 (2023/1～2023/3)	当第1四半期 (2024/1～2024/3)	増減	
	金額	金額	金額	比(%)
メカトロニクス	51,769	47,236	△4,533	△8.8
インダストリアル マシナリー	70,470	62,530	△7,940	△11.3
ロジスティックス& コンストラクション	98,379	84,730	△13,649	△13.9
エネルギー& ライフライン	37,748	24,962	△12,786	△33.9
その他	1,593	1,644	51	3.2
合計	259,958	221,102	△38,856	△14.9

② 売上高及び営業損益

(単位：百万円)

セグメント	前第1四半期 (2023/1～2023/3)		当第1四半期 (2024/1～2024/3)		増減	
	売上高	営業損益	売上高	営業損益	売上高	営業損益
メカトロニクス	53,183	3,172	49,392	1,671	△3,791	△1,502
インダストリアル マシナリー	68,387	7,093	66,467	6,153	△1,921	△940
ロジスティックス& コンストラクション	87,777	5,960	94,464	9,236	6,687	3,276
エネルギー& ライフライン	37,416	△523	42,865	875	5,449	1,398
その他	1,473	453	1,623	503	150	49
調整額	—	1	—	△3	—	△4
合計	248,236	16,157	254,811	18,434	6,574	2,277

③ 受注残高

(単位：百万円)

セグメント	前期末 (2023.12.31)	当第1四半期末 (2024.3.31)	増減	
	金額	金額	金額	比(%)
メカトロニクス	92,483	90,327	△2,156	△2.3
インダストリアル マシナリー	181,516	177,579	△3,937	△2.2
ロジスティックス& コンストラクション	257,947	248,213	△9,734	△3.8
エネルギー& ライフライン	228,253	210,351	△17,902	△7.8
その他	1,647	1,668	21	1.3
合計	761,846	728,138	△33,708	△4.4

当社のセグメント区分は、以下のとおりであります。

セグメント	主要製品
メカトロニクス	減・変速機、モータ、インバータ、レーザ加工システム、精密位置決め装置、制御システム装置
インダストリアルマシナリー	プラスチック加工機械、フィルム加工機械、極低温冷凍機、精密鍛造品、半導体製造装置、加速器、医療機械器具、鍛造プレス、工作機械、空調設備、防衛装備品
ロジスティクス&コンストラクション	油圧ショベル、建設用クレーン、道路機械、運搬荷役機械、物流システム、駐車場システム
エネルギー&ライフライン	自家発電設備、ボイラ、大気汚染防止装置、水処理装置、タービン、ポンプ、反応容器、攪拌槽、食品製造機械、船舶

(2) (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期 (2023/1～2023/3)	当第1四半期 (2024/1～2024/3)	増減
税金等調整前四半期純利益	16,235	18,595	2,361
減価償却費	8,538	9,179	641
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	12,771	10,461	△2,310
棚卸資産の増減額(△は増加)	△23,236	△16,889	6,347
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,776	△11,722	△4,946
法人税等の支払額	△3,470	△11,359	△7,889
その他	282	△3,751	△4,033
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,344	△5,485	△9,829
固定資産の取得による支出	△8,676	△12,314	△3,639
その他	293	△284	△577
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,383	△12,599	△4,216
有利子負債の増減額(△は減少)	8,828	39,342	30,514
配当金の支払額	△5,383	△7,174	△1,791
その他	△735	△2,353	△1,618
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,709	29,814	27,105
その他	569	2,073	1,504
現金及び現金同等物の期首残高	93,727	100,235	6,508
現金及び現金同等物の四半期末残高	92,967	114,039	21,072